

① 法人概要書

法人名	NPO 法人床ずれ研究会				
主たる事務所の所在地	〒296-0044 鴨川市広場1709				
電話番号	090-7402-3941				
メールアドレス	info@ tokozure-kamogawa. jp				
代表者 (ふりがな) 職・氏名	理事長 久保忠一 (くぼただかず)				
設立年月 (活動開始年月)	H19年 5月 (H19年2月)	事業 年度	4月～3月	人数	12人
市内の事務所の所在地	〒 同上				
開設年月 (活動開始年月)	H19年 5月 (H19年2月)	事業 年度	4月～3月	人数	5人
活動分野	※下表「活動分野」から該当するものをご記入ください。 【主たる分野】 1 保健・医療 17 科学技術				
	【従たる分野】 2 福祉 7 まちづくり				
ホームページ	㊦ (URL tokozure-kamogawa. jp ) / 無				
機関紙	㊦ (名称： 床ずれ通信 ) / 無				
法人の活動目的	床ずれ（褥瘡）の治療法の研究を中心とし、広く高齢化社会の対策や、専門的に薬剤の研究開発などを行い、社会に貢献すること。				
主な活動内容 (事業内容)	床ずれや創傷、スキンケアに関する医薬品、医療材料、介護用品等の研究。医療介護福祉現場との情報交換、関連団体や個人との交流、支援活動。				
これまでの活動実績	<p>(主なもの) 市内で講師を呼んでの講演会活動(4回)、関係団体(ヘルパー協議会、ケアマネ協議会、医療大学学生、介護施設)への勉強会。学会発表(褥瘡学会、創傷治癒学会、ヨウ素学会、香粧品学会11回)、論文発表1回、医薬品、医療材料、介護用品の研究活動。介護予防を含む在宅医療介護支援活動(特に鴨川市内在宅での難治性の褥瘡、皮膚潰瘍、火傷患者の訪問、治療支援)。床ずれなどに関する全国からの相談窓口(毎年20から30件の問合せ)</p> <p>(企業、団体、行政との協働実績) 三宝製薬㈱、玉川衛材㈱と褥瘡治療薬ポビドンヨードシュガーの基材の改良研究中。三宝製薬㈱とスキンケア保湿クリームの開発。千葉大学理学部藤川研究室と製剤中のヨウ素の分析法の研究。千葉工大生命環境科学科滝口研究室及び旭化成㈱と創傷被覆材の研究中、亀田病院、エビハラ病院、千葉科学大学薬学部岡本研究室と褥瘡の臨床成績と浸出液に占めるサイトカインの研究(論文あり)、理可工業と介護用クッションの研究。鴨川市、安房医師会、歯科医師会、薬剤師会、社協などと協力しての講演会活動。日本褥瘡学会千葉県支部との鴨川での褥瘡セミナー開催。亀田リハビリ病院リハビリ祭り参加。市内外医療介護施設への</p>				

	褥瘡に関する助言提言、サンプルの配布。市内民間高齢者サロン活動支援（経済的支援、健康管理指導等）。など。
--	--

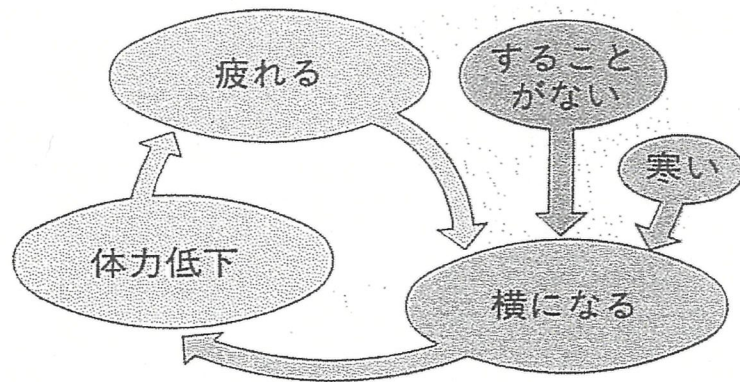
○活動分野

1 保健・医療	8 文化・芸術	15 子どもの健全育成
2 福祉	9 スポーツ・レクリエーション	16 情報化社会
3 生涯学習	10 環境	17 科学技術
4 観光	11 災害救済・地域安全	18 経済活動・消費者保護
5 農山間地域振興	12 国際交流・国際協力	19 職業能力開発・雇用機会拡充
6 学校教育	13 人権・平和	20 市民活動支援
7 まちづくり	14 男女共同参画	21 その他

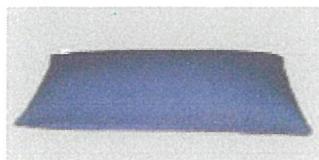
■寄附者へのPR■

1 市民（寄附者）に向けた団体のPR

① 高齢者を寝たきりにさせない取り組み。すなわち、認知症や鬱などにもなりやすく、有意義な老後を送れるような公的保険外のサービスの充実に取り組みます。寝たきりになってしまうということは肉体的あるいは精神的な廃用症候群ともいえます。体を動かすこと（楽しいリハビリや活動、遊び）と精神的に楽しみを持つこと、そして、経済的な心配からも解放されることが重要です。生活全体の活発化による予防が重要なので、この点に真剣に取り組んでいます。




② たとえ在宅で寝たきりになっても、介護される方もする方も少しでも前向きに明るく過ごせるよう、今の介護保険外のサービスでサポートします。寝たきりになると関節拘縮（曲がったまま固まってしまうこと）が起き体全体も動かなくなります。筋肉も萎縮します。そして肉が薄くなって骨が相対的に出っ張った部分に床ずれができやすくなります。あらかじめこの流れを予防する取り組みを行っています。また、床ずれ発生のメカニズムは介護などをしていて発生するズレ力（寝具等との摩擦）にもありますので、負担のかからない介護技術も紹介いたします。また、拘縮予防に関連して、寝たきりの方の体のポジショニングも重要で、会員企業により介護用クッション「らくすけ」を開発しました。



③ また、私たちは専門家を擁する集団で、今まで床ずれや創傷、スキンケアの薬剤等の研究に取り組んでおり、時代の助けとなるジェネリック医薬品やメディケーションの開発まで取り組む特筆すべき団体です。保湿性の高い製剤の研究の中で鴨川オリジナル保湿化粧品「ゆかいなびじん」を開発しました。



	
<p>2 支援を受けて取り組みたい事業の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存の褥瘡 (=床ずれ) (その他創傷、皮膚潰瘍等にも適応がある) 薬品をより有効で使いやすく安価なジェネリック医薬品や一般大衆薬とするための研究活動及び関係・派生する研究活動を行います。具体的に今ある褥瘡の薬剤を、保湿性を高めてより治癒効果の高いものとしながらも、主成分を変えないままなので、安価なジェネリック医薬品として開発することにより、高齢化社会、医療経済に貢献したいと考えます。</li> <li>2. 床ずれ、スキンケア、高齢化に関する様々な問題をテーマとした講演会活動を年1回程度市内で開催します。</li> <li>3. 地区社会福祉協議会とも協力し、市内の高齢者サロンなどへの、リハビリ教室などの開催。医療介護関係者とタイアップした支援を原則無料で行います。詳細は以下に。 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 前述のように体を動かさないことにより、関節が「錆ついて動かなくなる」ので、できるだけ多くの場でリハビリの専門スタッフにより、関節可動域訓練 (皮膚や筋肉を柔らかくほぐしてから、我慢できる痛みの範囲でゆっくり関節を動かす) などを行います。</li> <li>✓ また、寝たきりの原因は転倒であることから、転倒防止の歩き方、姿勢、足の上げ方など、身体全体のバランスを保つ訓練も行います。また、全身の血流改善に必要なふくらはぎなど下半身の筋力アップとマッサージにより、足が上がり転びにくくなることと、下半身のポンプ機能を高め、脳への血流を改善し、脳血管障害や認知症を予防するトレーニングを行います。</li> </ul> </li> <li>4. 関連する団体や自己所有の畑での農業により、体を動かすストレスを発散したり、バーベキューやカラオケ、など様々な高齢者に対する企画を実費費用程度で行います。</li> <li>5. 在宅で寝たきりの方にも出来るだけ支援いたします。ご家族の方が疑問に思われること、例えば、関節拘縮で『そんなに動かして、骨折しませんか?』など、基本をしっかり知り、力の入れ具合いや動かし方を体験できるよう、専門スタッフにより指</li> </ol>

	<p>導すれば、関節拘縮への対処もしっかりできると考えます。また、上述のようにズレ力を起こさない介護を行うために、寝たきりの方を持つご家庭に、体を移動させるときにレジ袋を使って滑らせることにより床ずれのリスクを無くすなどの指導をいたします。これらのことは、主治医、ケアマネージャー等とも連携して行ってまいります。</p> <p>6. 医療介護には経済的負担が大きいのしかかります。例えば床ずれの治療薬は保険負担が利きますが、被覆材など医療材料は実費となります。当 NPO は関連する企業が多くありますので、多くの試供品を入手できます。また、当 NPO オリジナル創傷被覆材穴あきテフロンフィルムも作っております。主治医や訪問看護師等と連携し、原則無料で提供して参ります。</p> <p>7. 上述の介護用クッション「らくすけ」も介護保険レンタル料金の範囲内で提供できるようにいたします。</p>
--	---

■目標宣言■

<p>私たちは、基金の支援を受けて、右の目標達成に努力します。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 3年以内に褥瘡治療薬を販売できるようにすること。</li><li>● 国家財政を逼迫する超高齢化問題に真摯に向き合い、介護保険等公的保険サービスを補完するサービスや技術の提供を行うこと。</li><li>● 医療介護福祉先進都市鴨川が高齢化社会におけるイノベーションを起こすことによって、多くの方に注目され、鴨川市への移住者、定住人口の増加につなげること。</li><li>● 介護保険や医療保険の対象とならない、在宅患者の支援(難治性の褥瘡、皮膚潰瘍、火傷患者及び皮膚などの表在性の腫瘍の患者の訪問、治療支援)も積極的に主治医、訪問看護師と協力しながら行っていく。</li><li>● 新型コロナウイルス、インフルエンザなどの外因性や誤嚥性肺炎や尿路感染などの内因性の感染症から特に持病のある人、寝たきりの人などの弱者を守るための公衆衛生の向上に尽くすために、行政と市民と医療機関と連携し、安心して快眠できる寝具や感染予防の用具などの普及と啓発に努めます。</li><li>● 高齢者から若者、子供たちまで、楽しく笑って過ごせる楽しい鴨川をめざし、商店街の活性化を含めまちづくりに貢献すること。</li><li>● 市内に床ずれの方を極力無くすこと。</li></ul>
-------------------------------------	--

この申請書に記載している事項に間違いはありません。

令和2年 3月 27日

法人名 特定非営利活動法人床ずれ研究会

代表者 職・氏名 理事長 久保忠一